

いちばん、人を考える会社になる。

第一生命

2013年3月期 第3四半期決算報告

2013年2月13日
第一生命保険株式会社

第一生命

決算のポイント

- 10～12月にかけて金融環境が好転したことで、第一生命単体ではキャピタル損益が改善、第一フロンティア生命でも運用損益がプラス寄与、豪TAL等海外事業からの貢献度が増すなどグループ各社が恩恵を受けた
- 国内営業職員チャネル、銀行窓販、海外市場で営業業績は堅調に推移
- 第一生命単体の内部留保積み増し・デュレーション長期化を前倒して進捗させたことに加え、第一フロンティア生命も危険準備金を繰り入れるなど、財務健全性強化に向けた対応を加速

第一生命

業績ハイライト

- 経常利益は、前年同期に厳しい運用環境や法人税制改正に対応すべく内部留保を取り崩し、大幅増益だったため当期は減益
- 純利益は、金融環境好転の下、内部留保の積み増しを進めながらも大幅増益・高い進捗を達成

(億円)

	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計(a)	前年同期比	
経常収益	35,968	35,837	131	0%
第一生命単体	32,573	30,376	2,196	7%
経常利益	1,848	1,126	721	39%
第一生命単体	1,996	1,192	803	40%
純利益	127	246	+119	+94%
第一生命単体	63	343	+279	+437%

< 参考 >

13/3期 業績予想(b)	進捗率(a/b)
45,960	78%
39,880	76%
1,380	82%
1,560	76%
250	99%
440	78%

第一生命

連結主要業績

■ 運用収支が改善し、健全性強化に向けた対応も加速

連結損益計算書(要約)⁽¹⁾

(億円)

	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計	増減
経常収益	35,968	35,837	131
保険料等収入	26,625	25,519	1,105
資産運用収益	7,141	8,376	+1,235
うち利息・配当金等収入	5,056	5,104	+47
うち有価証券売却益	2,018	1,710	307
うち特別勘定資産運用益	-	1,180	+1,180
その他経常収益	2,201	1,941	260
経常費用	34,120	34,710	+589
うち保険金等支払金	19,628	19,682	+53
うち責任準備金等繰入額	3,758	6,470	+2,712
うち資産運用費用	4,005	2,016	1,989
うち有価証券売却損	1,064	500	564
うち有価証券評価損	830	534	295
うち金融派生商品費用	32	302	+269
うち特別勘定資産運用損	1,213	-	1,213
うち事業費	3,393	3,450	+57
経常利益	1,848	1,126	721
特別利益	288	49	239
特別損失	308	216	92
契約者配当準備金繰入額	522	597	+75
税金等調整前四半期純利益	1,305	361	943
法人税等合計	1,202	131	1,071
少数株主損失()	24	16	+7
四半期純利益	127	246	+119

連結貸借対照表(要約)

(億円)

	12/3末	12/12末	増減
資産の部合計	334,686	345,176	+10,489
うち現預金・コール	5,643	6,521	+877
うち買入金銭債権	2,943	2,925	17
うち有価証券	270,387	281,655	+11,267
うち貸付金	34,136	31,917	2,218
うち有形固定資産	12,546	12,383	163
うち繰延税金資産	2,845	2,573	272
負債の部合計	324,769	333,757	+8,988
うち保険契約準備金	304,899	311,366	+6,466
うち責任準備金	298,627	304,793	+6,165
うち退職給付引当金	4,337	4,466	+128
うち価格変動準備金	748	891	+142
純資産の部合計	9,917	11,419	+1,501
うち株主資本合計	5,692	5,560	131
うちその他の包括利益累計額合計	4,132	5,773	+1,640
うちその他有価証券評価差額金	4,834	6,171	+1,336
うち土地再評価差額金	616	380	+235

(1) 特別勘定資産運用損(益)は、責任準備金の戻入れ(繰入れ)で相殺されるため、経常利益には影響しません

グループ各社の業績

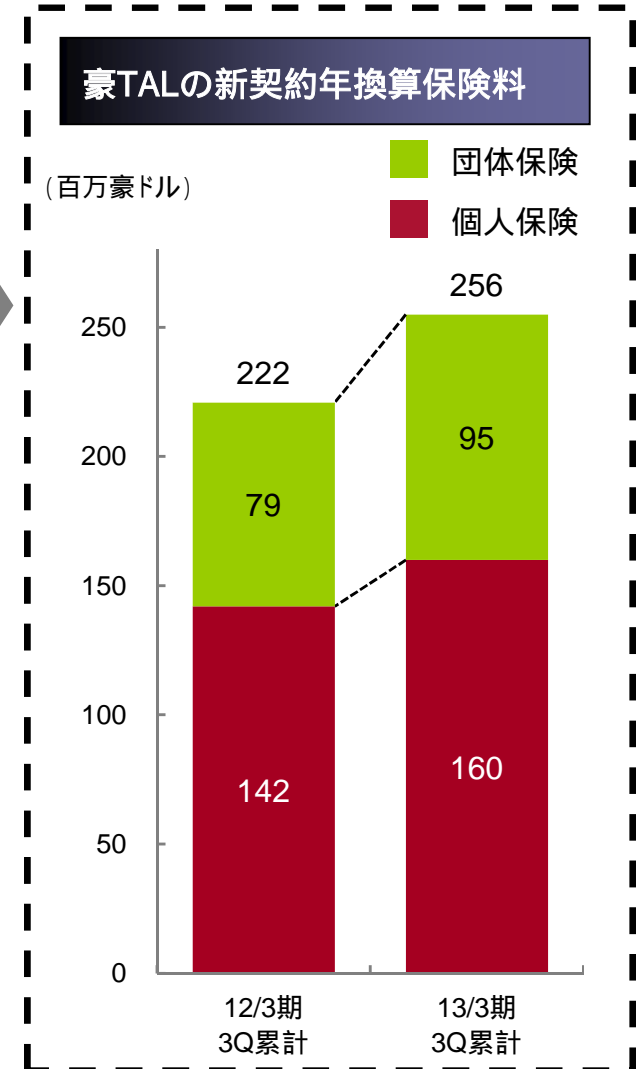
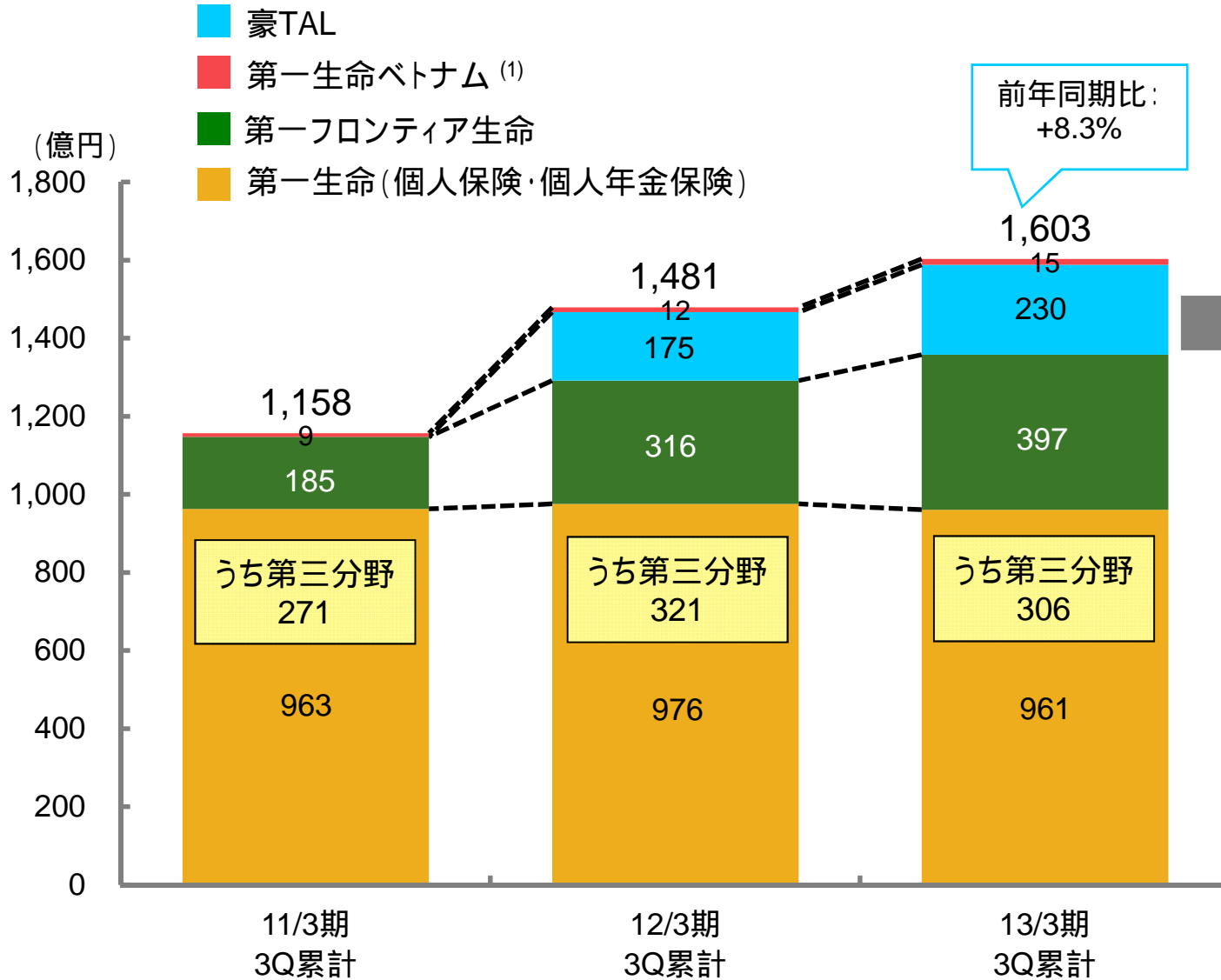
	【第一生命】			【第一フロンティア生命】			【豪TAL】 ⁽¹⁾			【連結】		
	(億円)			(億円)			(百万豪ドル)			(億円)		
	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計	前年 同期比	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計	前年 同期比	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計	前年 同期比	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計	前年 同期比
経常収益	32,573	30,376	7%	2,558	4,258	+66%	1,543	1,793	+16%	35,968	35,837	0%
保険料等収入	23,270	21,142	9%	2,429	3,214	+32%	1,217	1,370	+13%	26,625	25,519	4%
資産運用収益	7,074	7,381	+4%	127	1,043	+717%	19	184	+849%	7,141	8,376	+17%
経常費用	30,577	29,183	5%	2,800	4,389	+57%	1,412	1,665	+18%	34,120	34,710	+2%
保険金等支払金	18,343	17,923	2%	688	1,085	+58%	826	855	+3%	19,628	19,682	+0%
責任準備金等繰入額	2,318	3,412	+47%	1,636	2,900	+77%	134	357	+166%	3,758	6,470	+72%
資産運用費用	3,663	1,905	48%	362	256	29%	62	24	60%	4,005	2,016	50%
事業費	3,005	2,959	2%	106	137	+29%	331	364	+10%	3,393	3,450	+2%
経常利益(は損失)	1,996	1,192	40%	241	130	--	131	128	3%	1,848	1,126	39%
特別利益	59	49	16%	--	--	--	--	--	--	288	49	83%
特別損失	305	213	30%	1	2	+107%	2	--	100%	308	216	30%
少数株主損失()	--	--	--	--	--	--	--	--	--	24	16	33%
四半期純利益(は損失)	63	343	+437%	243	134	--	86	86	1%	127	246	+94%

(1) 豪TALの数値は、オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております

第一生命

新契約動向(年換算保険料ベース)

第一生命グループの新契約年換算保険料

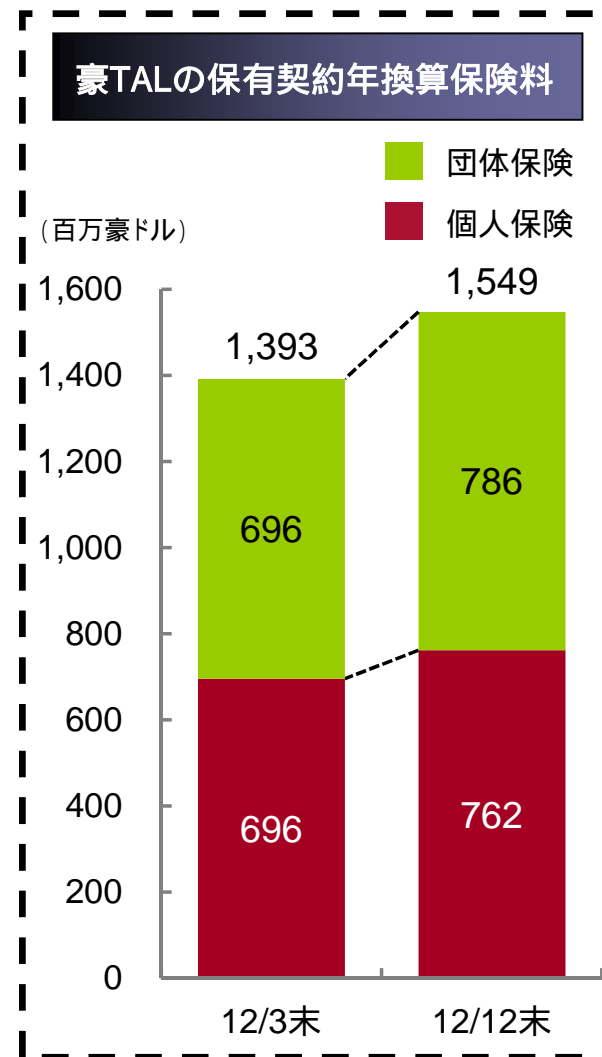
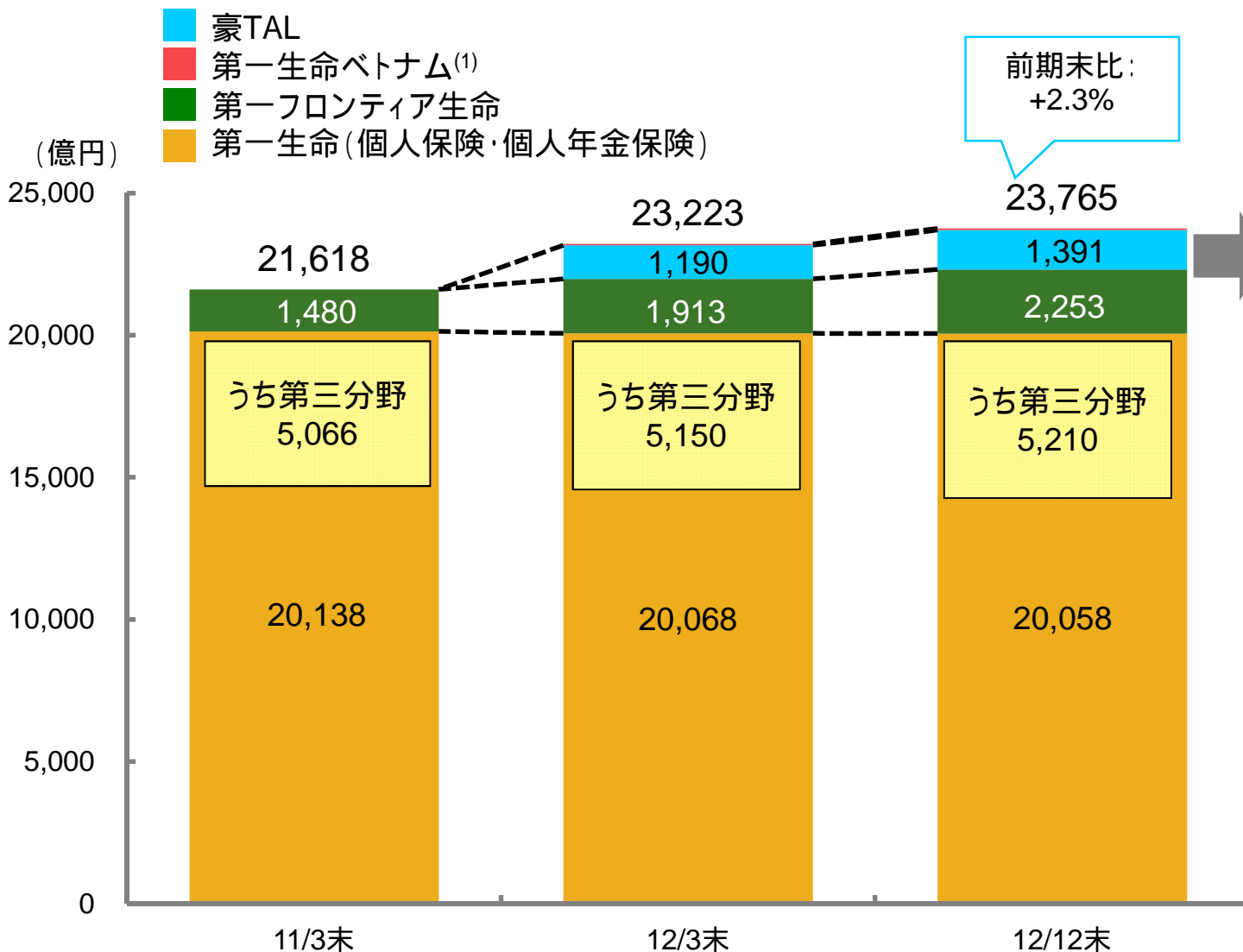


(1) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です

第一生命

保有契約動向(年換算保険料ベース)

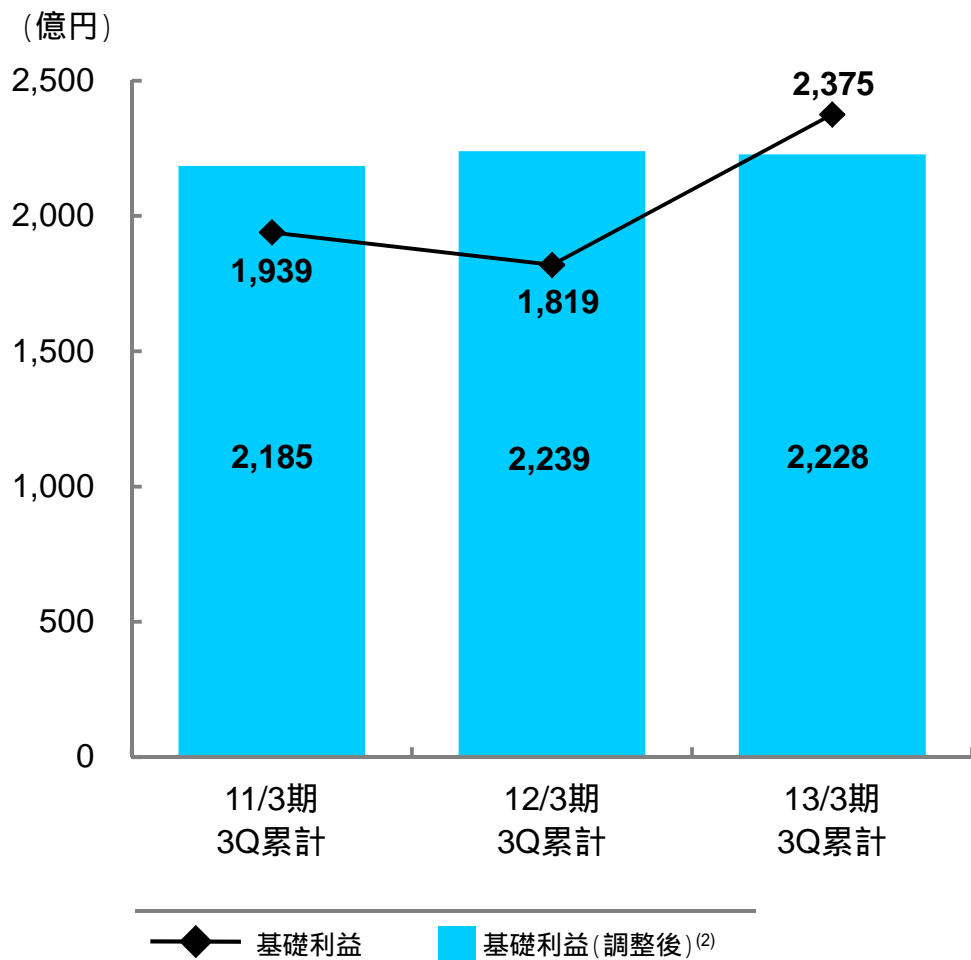
第一生命グループの保有契約年換算保険料



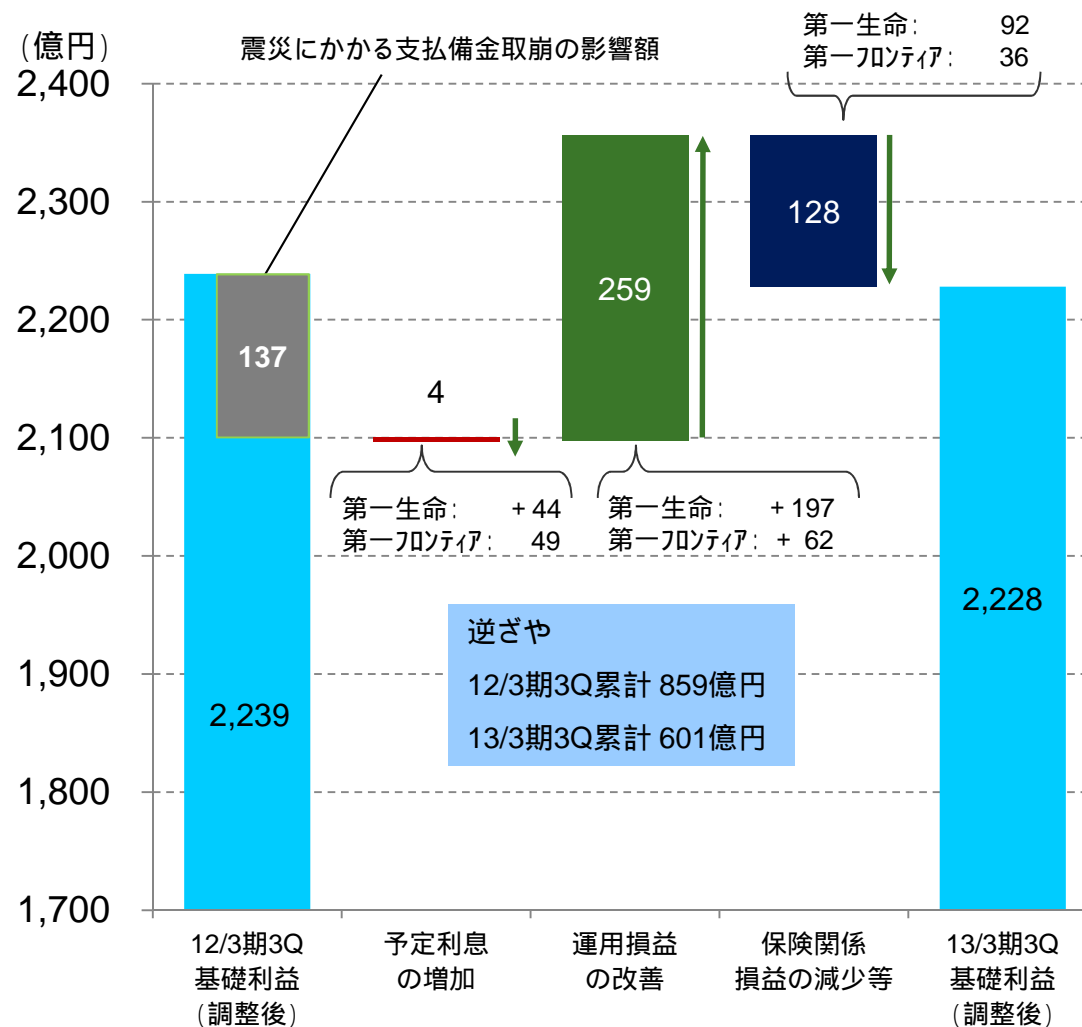
(1) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。12/3末、12/12末の第一生命ベトナムの保有年換算保険料はそれぞれ50億円、61億円です。11/3末の数値は計算を行っていません

基礎利益の状況

基礎利益⁽¹⁾



基礎利益(調整後)の変動要因⁽¹⁾⁽²⁾

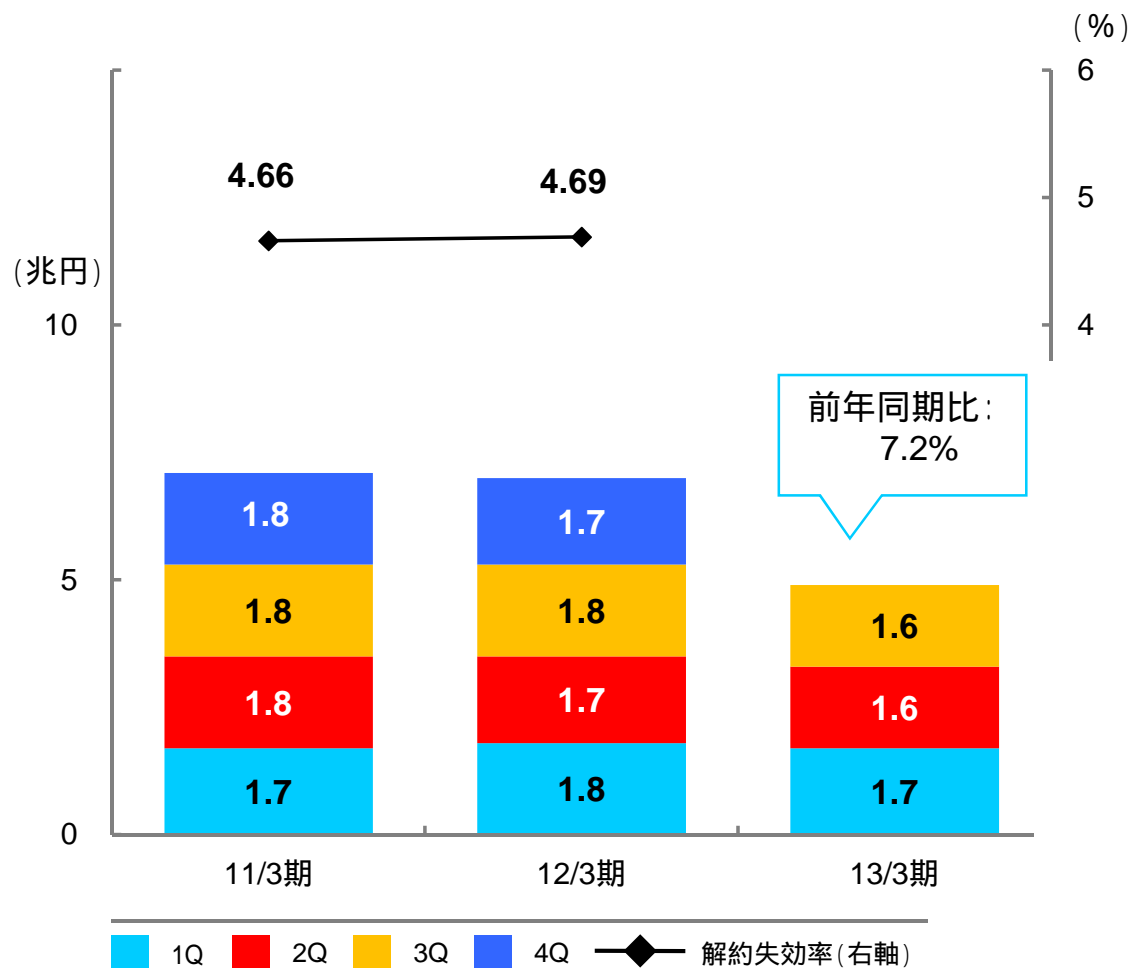


(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース
 (2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 + 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入額

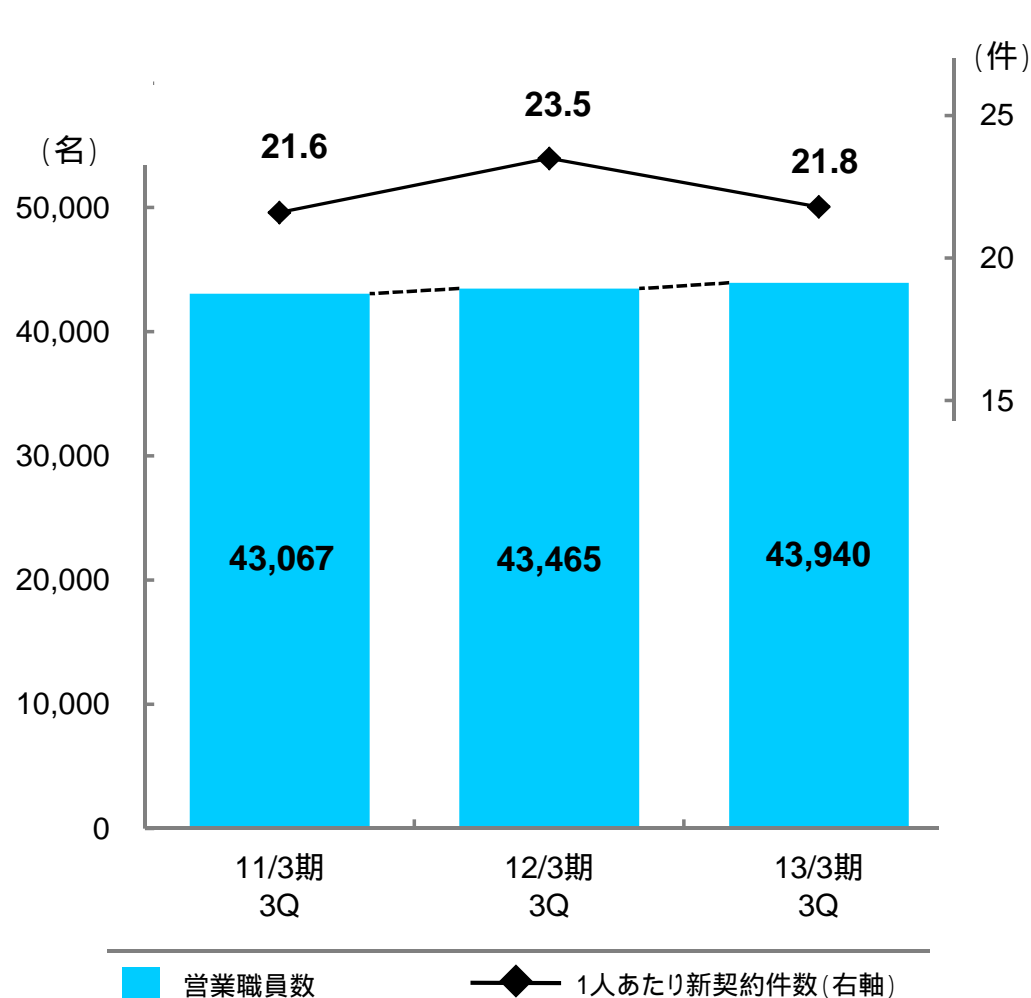
第一生命

解約失効高、営業職員数および生産性

解約失効高(個人保険・個人年金保険)



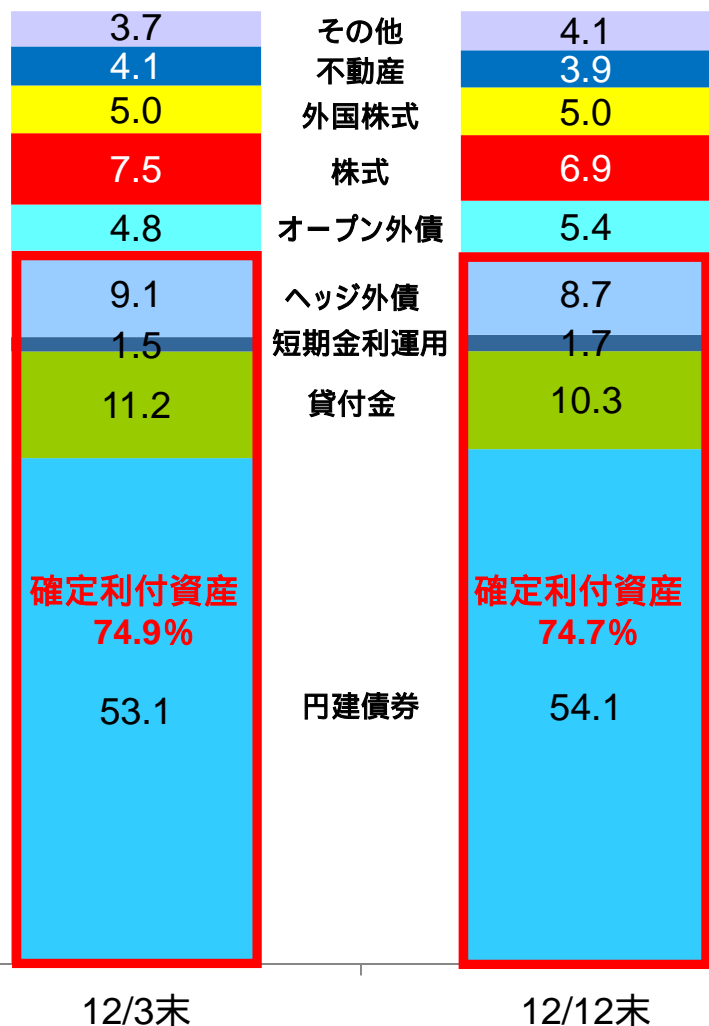
営業職員数および生産性⁽¹⁾



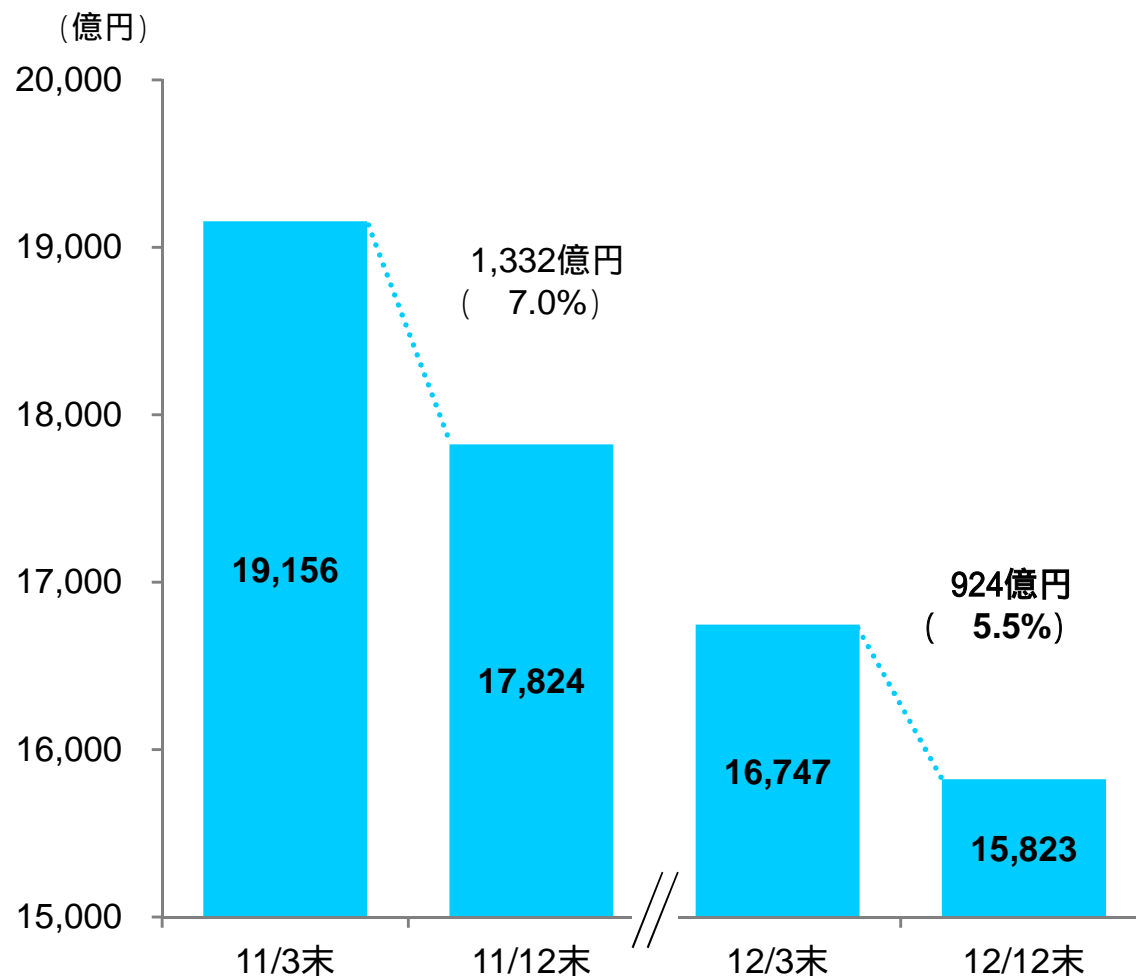
(1) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております

一般勘定資産運用の状況

資産の構成 (一般勘定)



国内株式の簿価 (1)



(1) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)

第一生命

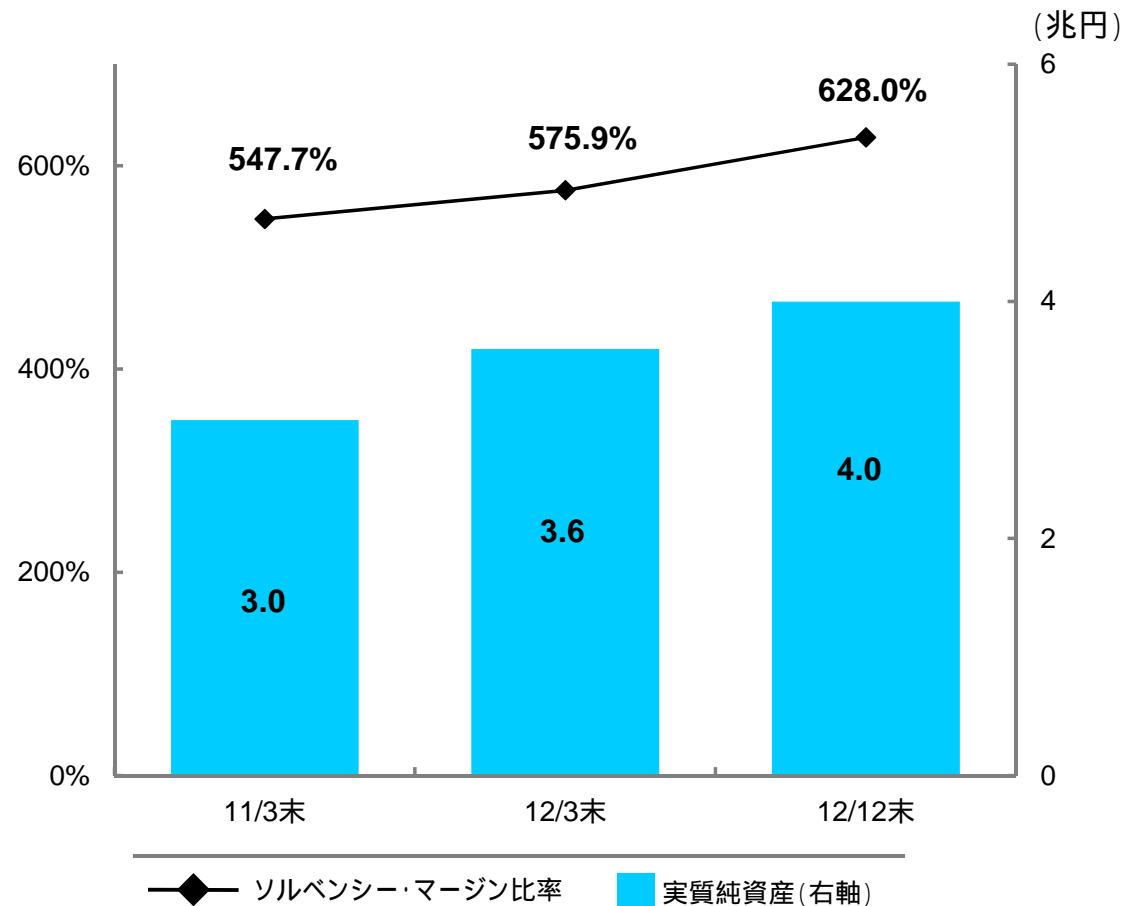
健全性指標

含み損益(一般勘定)

(億円)

	12/3末	12/12末	増減
有価証券	12,156	13,863	+1,706
国内債券	7,906	7,691	214
国内株式	2,978	2,414	563
外国証券	1,144	3,494	+2,350
不動産	365	191	+556
その他共計	11,799	14,041	+2,242

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額

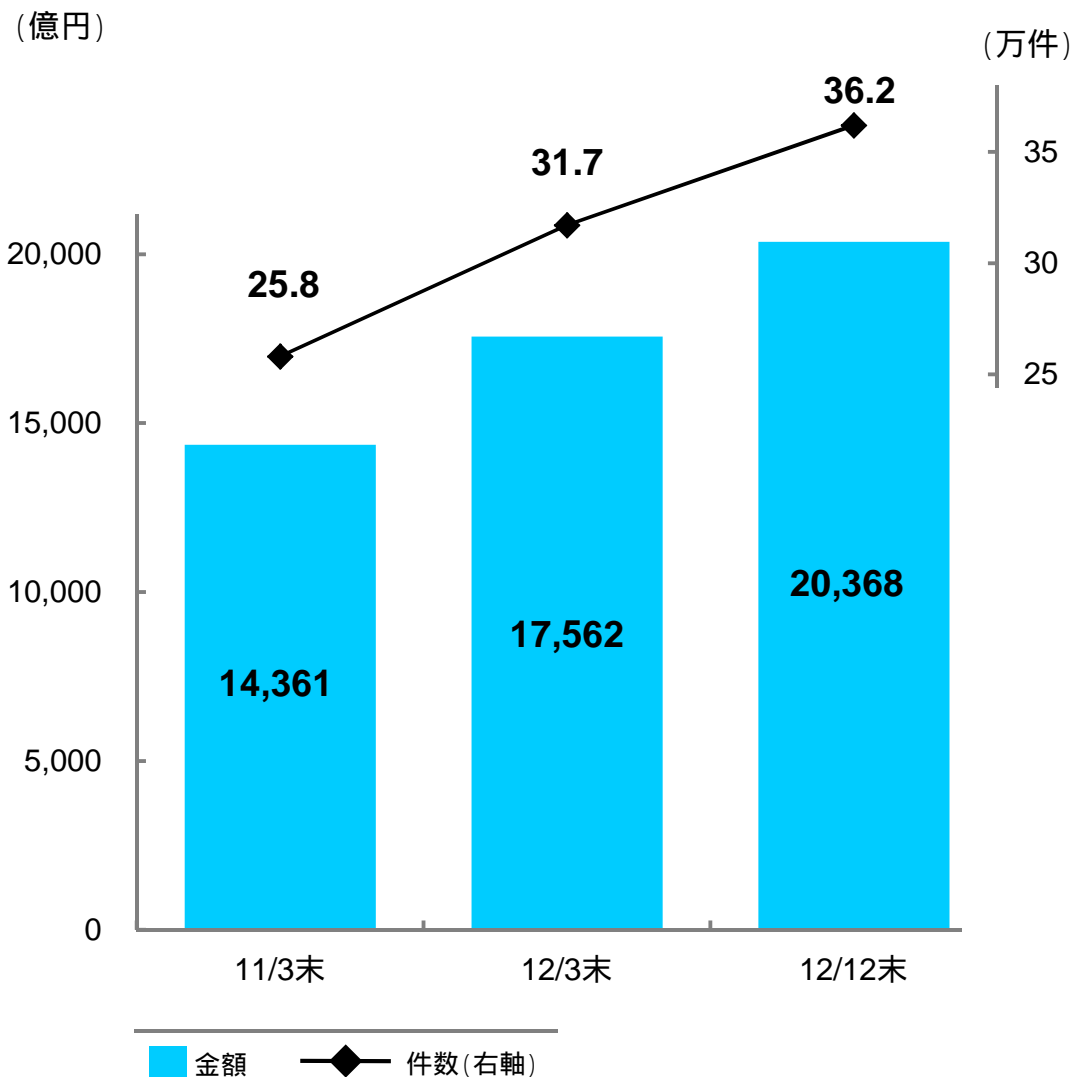


<参考> 2012年12月末 連結ソルベンシー・マージン比率: 617.4%

第一生命

第一フロンティア生命

保有契約高



収支の状況

(億円)

	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計
経常収益	2,558	4,258
うち保険料等収入	2,429	3,214
うち変額商品	495	574
うち定額商品	1,620	2,289
うち資産運用収益	127	1,043
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	90	-
経常費用	2,800	4,389
うち責任準備金等繰入額	1,636	2,900
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(は戻入)(B)	407	136
うち危険準備金繰入額(C)	22	139
うち資産運用費用	362	256
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(D)	-	216
経常利益(は損失)	241	130
当期純利益(は損失)	243	134
当期純利益 - (A) + (B) + (C) + (D)	95	84

【参考】

再保険収支

	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計
再保険収入	313	350
再保険料	417	467
再保険収支	103	116

定額年金の市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入額

	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計
繰入額(は繰入)	21	38

第一生命

豪TAL⁽¹⁾

(百万豪ドル)

	12/3期3Q累計	13/3期3Q累計	前年比
経常収益 ⁽²⁾	1,543	1,793	+ 16%
うち保険料等収入 ⁽²⁾	1,217	1,370	+ 13%
経常利益 ⁽²⁾	131	128	3%
純利益(A) ⁽²⁾	86	86	1%
修正額(B)	2	12	
うち負債割引率の変化	23	17	
うち償却負担	17	16	
その他	3	13	
修正利益=(A)+(B) (Underlying profit)	84	99	+ 18%

<参考>

	11/12末	12/12末
為替レート(豪ドル)	79.12円	89.80円

(1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値

(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正額及び修正利益を除く)

- 第3四半期業績も通期業績予想に対して高い進捗ながら、現時点では通期利益予想は据え置き

(億円)

	12/3期	13/3期(予)	増減
経常収益	49,317	45,960	3,357
第一生命単体	43,982	39,880	4,102
第一フロンティア	4,148	4,430	+ 281
TAL (百万豪ドル)	2,041	2,090	+ 48
経常利益	2,259	1,380	879
第一生命単体	2,437	1,560	877
第一フロンティア	282	250	+ 32
TAL (百万豪ドル)	142	100	42
当期純利益	203	250	+ 46
第一生命単体	176	440	+ 263
第一フロンティア ⁽¹⁾	257	234	+ 23
TAL (百万豪ドル)	93	70	23
1株当たり配当金	1,600円	1,600円	±0円

(参考)

基礎利益 (第一生命単体)	3,024	2,700程度	324
------------------	-------	---------	-----

(1) 持分考慮後

第一生命

ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(1)

■ 経済環境の改善等により9月末比約4,100億円増加

第一生命グループのEEV(試算値)

(億円)

	12/9末	12/12末	増減
EEV	24,848	約28,900	約 + 4,100
修正純資産	18,245	約20,600	約 + 2,300
保有契約価値	6,603	約8,300	約 + 1,700

第一生命(単体、試算値)

(億円)

	12/9末	12/12末	増減
EEV	25,285	約29,200	約 + 3,900
修正純資産	19,467	約21,600	約 + 2,200
保有契約価値	5,818	約7,600	約 + 1,800

第一フロンティア生命(試算値)

(億円)

	12/9末	12/12末	増減
EEV	1,231	約1,200	約 0
修正純資産	1,203	約1,300	約 + 100
保有契約価値	28	約 100	約 100

(1) 2012年12月末の保有契約をベースとしています。

(2) 経済前提は2012年12月末、非経済前提は2012年9月末と同一のものを用いています。また、保有契約価値の計算において、一部簡易な計算を実施しています。

なお、上記試算の妥当性について、第三者の検証は受けておりません。

ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(2)

TAL(試算値)

(億円)

	12/9末	12/12末	増減
EEV	1,454	約1,600	約 + 200
修正純資産	694	約800	約 + 100
保有契約価値	759	約800	約 + 100

<参考> TAL(豪ドルベース、試算値)

(百万豪ドル)

	12/9末	12/12末	増減
EEV	1,792	約1,800	約 + 0
修正純資産	856	約900	約 + 0
保有契約価値	936	約900	約 + 0

12/9末EEV:

12/9末の為替レート(1 豪ドル = 81.12円)を使用

12/12末EEV:

12/12末の為替レート(1 豪ドル = 89.80円)を使用

(1) 2012年12月末の保有契約をベースとしています。

(2) 経済前提は2012年12月末、非経済前提は2012年9月末と同一のものを用いています。また、保有契約価値の計算において、一部簡易な計算を実施しています。

なお、上記試算の妥当性について、第三者の検証は受けておりません。

いちばん、人を考える会社になる。

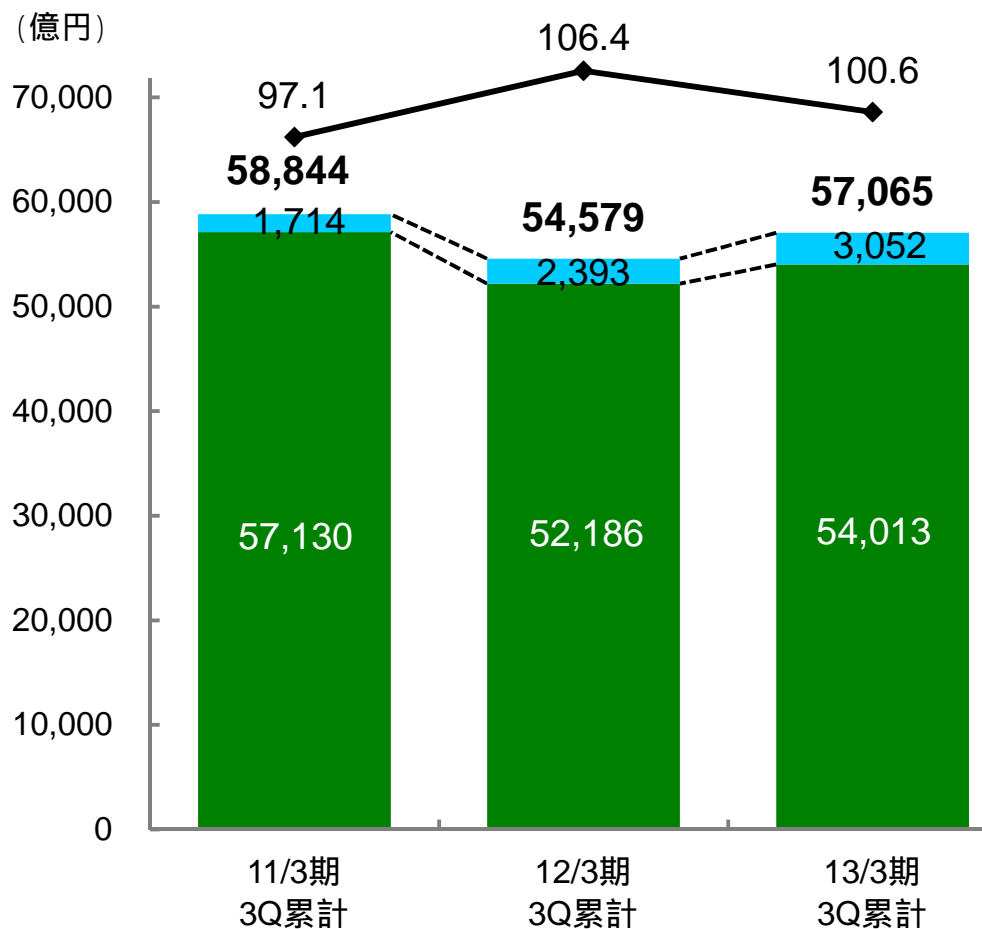
第一生命

参考データ

第一生命

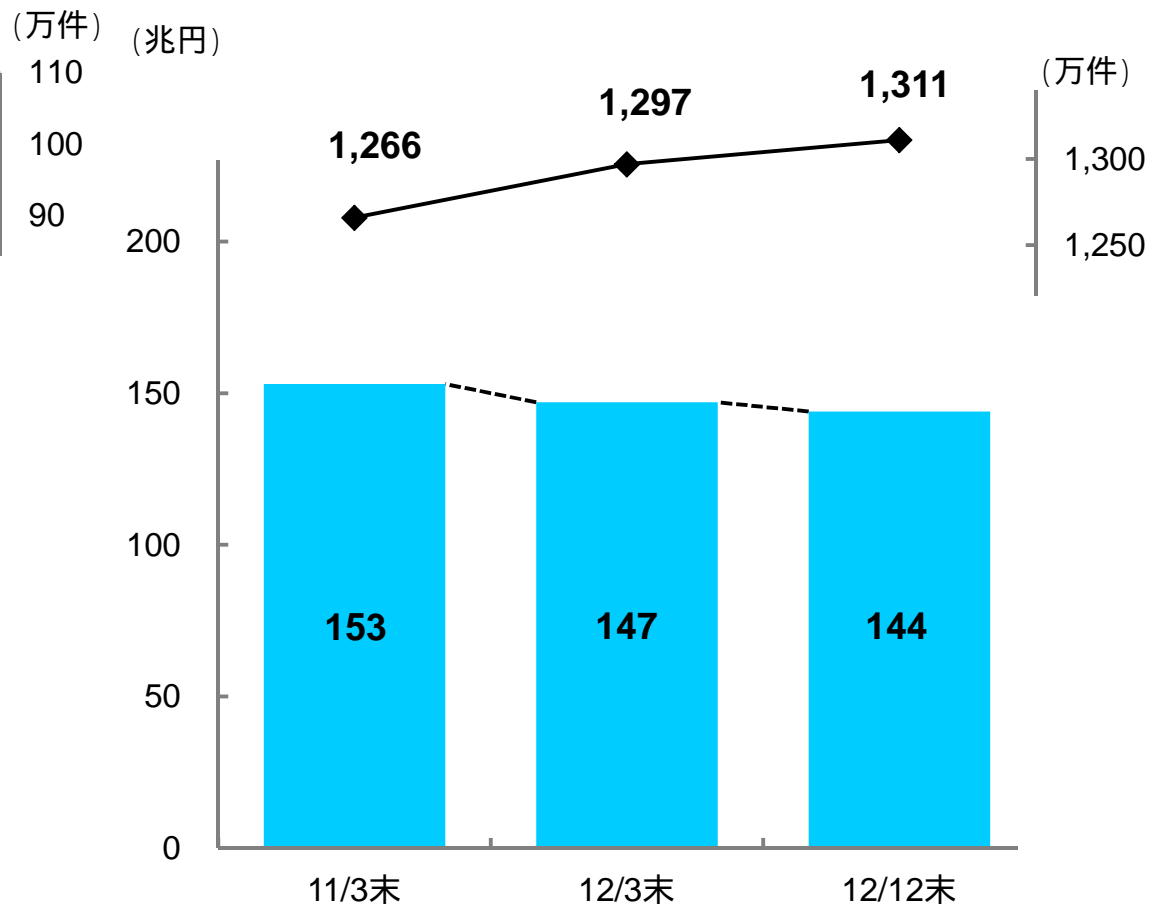
契約高の動向(個人保険・個人年金保険)

新契約高⁽¹⁾



■ 第一生命 ■ 第一フロンティア生命 ◆ 件数(右軸)

保有契約高⁽¹⁾

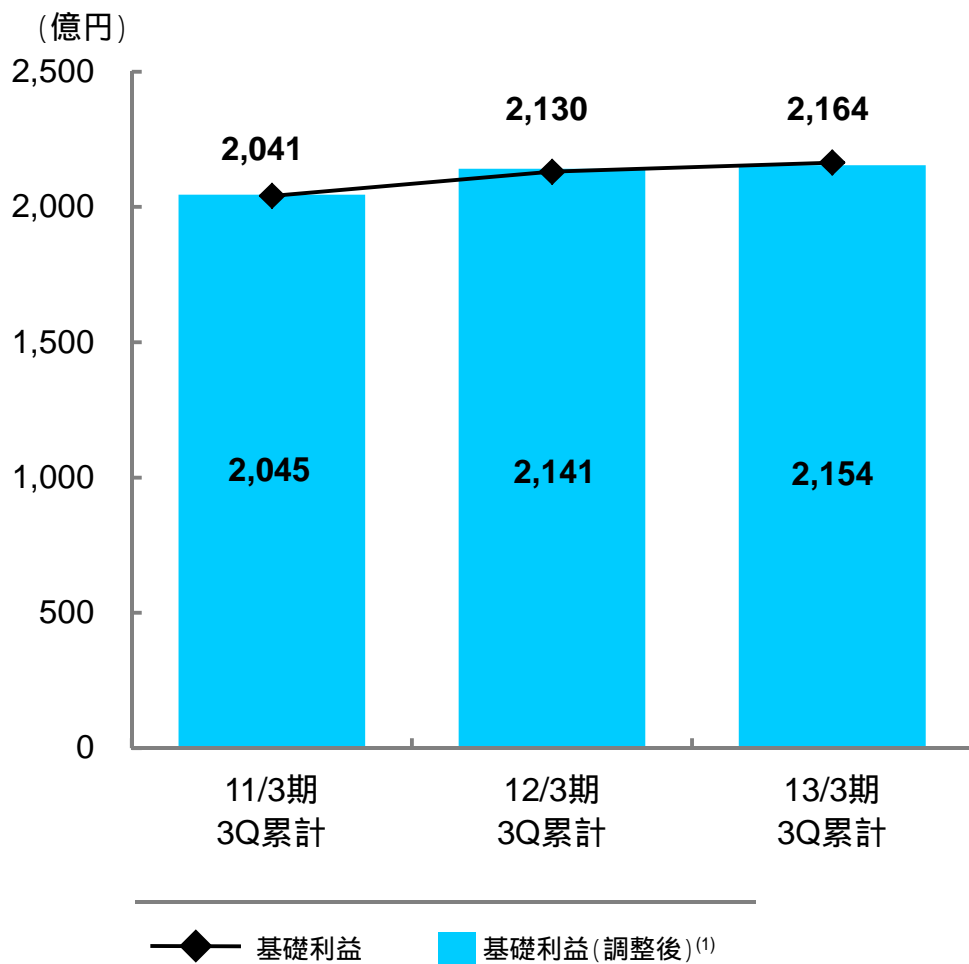


■ 金額 ◆ 件数(右軸)

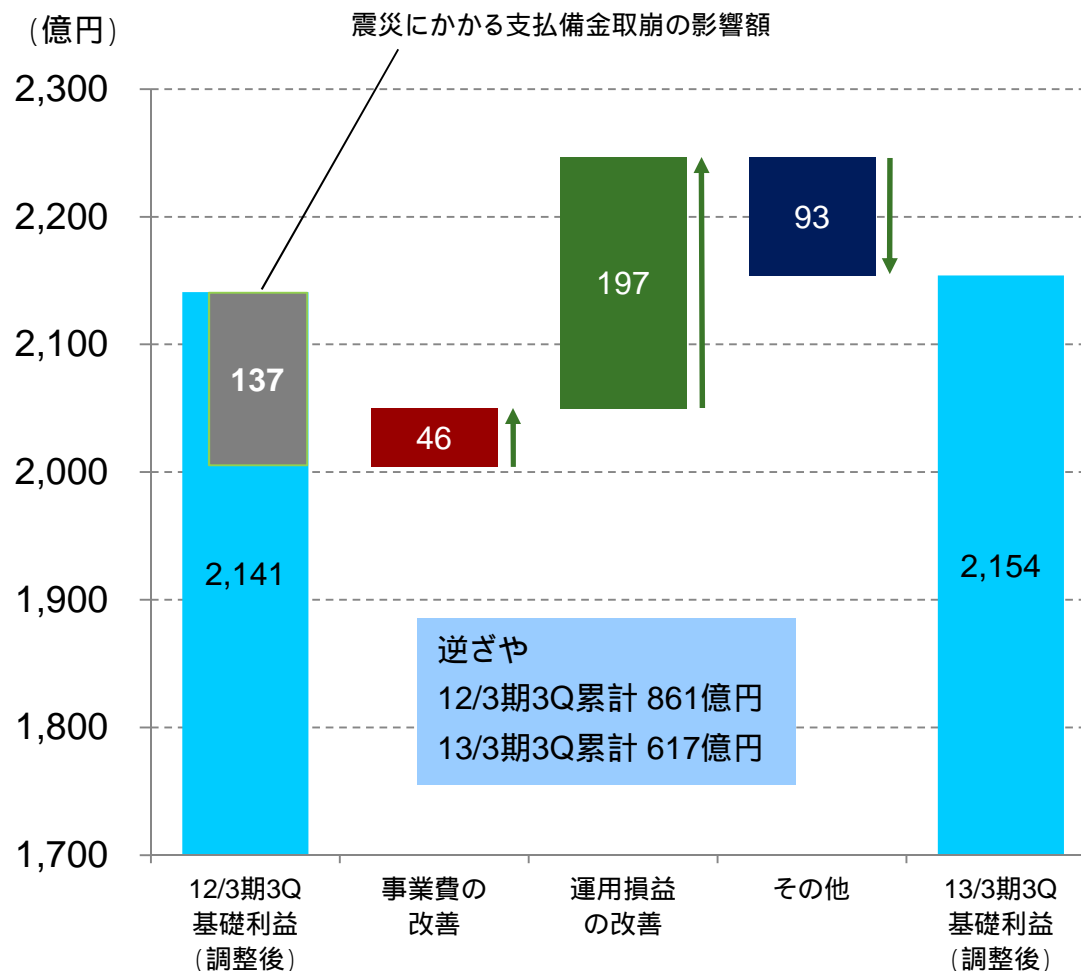
(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

第一生命(単体)基礎利益

基礎利益



基礎利益(調整後)の変動要因⁽¹⁾



(1) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 + 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入額

第一生命

第一生命(単体)財務諸表(要約)

損益計算書(1)

(億円)

	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計	増減
経常収益	32,573	30,376	2,196
保険料等収入	23,270	21,142	2,128
資産運用収益	7,074	7,381	+306
うち利息・配当金等収入	5,023	5,018	5
うち有価証券売却益	2,017	1,680	337
うち特別勘定資産運用益	-	436	+436
その他経常収益	2,228	1,853	375
経常費用	30,577	29,183	1,393
うち保険金等支払金	18,343	17,923	420
うち責任準備金等繰入額	2,318	3,412	+1,093
うち資産運用費用	3,663	1,905	1,757
うち有価証券売却損	1,064	500	564
うち有価証券評価損	830	534	295
うち特別勘定資産運用損	890	-	890
うち事業費	3,005	2,959	46
経常利益	1,996	1,192	803
特別利益	59	49	9
特別損失	305	213	91
契約者配当準備金繰入額	522	597	+75
税引前四半期純利益	1,227	430	796
法人税等合計	1,163	87	1,075
四半期純利益	63	343	+279

貸借対照表

(億円)

	12/3末	12/12末	増減
資産の部合計	314,619	321,802	+7,183
うち現預金・コール	4,992	5,655	+662
うち買入金銭債権	2,943	2,925	17
うち有価証券	253,334	261,627	+8,293
うち貸付金	34,125	31,906	2,219
うち有形固定資産	12,541	12,379	162
うち繰延税金資産	2,826	2,555	271
負債の部合計	304,335	310,054	+5,718
うち保険契約準備金	285,299	288,652	+3,353
うち責任準備金	280,116	283,441	+3,325
うち危険準備金	4,230	4,410	+180
うち退職給付引当金	4,320	4,444	+123
うち価格変動準備金	744	884	+140
純資産の部合計	10,283	11,748	+1,464
うち株主資本合計	6,103	6,068	35
うち評価・換算差額等合計	4,178	5,675	+1,497
うちその他有価証券評価差額金	4,794	6,070	+1,275
うち土地再評価差額金	616	380	+235

(1) 特別勘定資産運用損(益)は、責任準備金の戻入れ(繰入れ)で相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

第一生命

第一フロンティア生命財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)

	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計	増減
経常収益	2,558	4,258	+1,700
うち保険料等収入	2,429	3,214	+785
うち資産運用収益	127	1,043	+916
経常費用	2,800	4,389	+1,588
うち保険金等支払金	688	1,085	+396
うち責任準備金等繰入額	1,636	2,900	+1,263
うち資産運用費用	362	256	106
うち事業費	106	137	+31
経常利益(は損失)	241	130	+111
特別損益	1	2	1
税引前四半期純利益(は損失)	243	133	+109
法人税等合計	0	0	+0
四半期純利益(は損失)	243	134	+109

貸借対照表

(億円)

	12/3末	12/12末	増減
資産の部合計	18,606	21,511	+2,905
うち現預金・コール	232	395	+162
うち有価証券	17,668	20,444	+2,775
負債の部合計	17,699	20,693	+2,993
うち保険契約準備金	17,498	20,398	+2,900
うち責任準備金	17,485	20,385	+2,900
うち危険準備金	571	710	+139
純資産の部合計	906	818	87
うち株主資本合計	867	733	134
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	982	1,116	134

第一生命

豪TAL財務諸表(要約)

損益計算書(1)(2)

(百万豪ドル)

	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計	増減
経常収益	1,543	1,793	+250
保険料等収入	1,217	1,370	+152
資産運用収益	19	184	+165
その他経常収益	306	239	67
経常費用	1,412	1,665	+253
保険金等支払金	826	855	+28
責任準備金等繰入額	134	357	+223
資産運用費用	62	24	37
事業費	331	364	+33
その他経常費用	56	62	+5
経常利益	131	128	3
特別損失	2	-	2
法人税等	42	41	0
四半期純利益	86	86	0
修正利益 (Underlying profit)	84	99	+14

貸借対照表(1)(2)

(百万豪ドル)

	12/3末	12/12末	増減
資産の部合計	5,067	5,327	+259
現預金	378	423	+44
有価証券	2,659	2,736	+76
有形固定資産	2	1	1
無形固定資産	1,294	1,270	24
のれん	783	783	-
その他の無形固定資産	511	487	24
再保険貸	90	63	26
その他資産	641	831	+190
負債の部合計	3,343	3,522	+178
保険契約準備金	2,369	2,486	+116
再保険借	215	272	+56
その他負債	670	655	15
繰延税金負債	87	107	+20
純資産の部合計	1,724	1,805	+81
株主資本合計	1,724	1,805	+81
資本金	1,630	1,630	-
利益剰余金	93	174	+81

(1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値

(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正利益を除く)

金融市場への感応度(2012年12月末、第一生命単体)

	感応度 ⁽¹⁾	含み損益ゼロ水準 ⁽²⁾
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 1,800億円の増減 (2012年3月末: 1,900億円)	日経平均株価 ¥8,500 (2012年3月末: ¥8,400)
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 2,200億円の増減 (2012年3月末: 2,000億円)	10年国債利回り 1.1% (2012年3月末: 1.4%)
外国証券	ドル/円 1円の変動で 250億円の増減 (2012年3月末: 220億円)	ドル/円 \$1 = ¥83 (2012年3月末: ¥84)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

本資料の問い合わせ先

第一生命保険株式会社
経営企画部 IR室
電話:050 - 3780 - 6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。